

# 為替相場展望

2012年8月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/>

## 目次

【為替相場概説】	p. 1
◆ドル円、ユーロ相場の回顧	p. 2
◆米欧の金融政策の現状と見通し	p. 3
◆金利差からみた為替相場	p. 4
◆為替需給からみた円相場	p. 5
◆トピックス	p. 6
独米金利差、財政リスクプレミアムから示唆されるユーロ相場の下値目途	
◆ドル円、ユーロ相場の見通し	p. 7
【内外市場データ】	p. 8

◆本資料は2012年8月3日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

# 為替相場概説（2012年8月）

## 1. ドル円、ユーロ相場の回顧

### ＜7月のドル円相場＞

上旬は79円台での一進一退が続いたものの、その後は、低調な米景気指標が相次ぐなか、米FRBによる追加金融緩和観測の高まり、欧州債務問題への懸念再燃等を受けて、23日には一時77.94円までドルが下落。もっとも、77円台では介入警戒感も強く、月末にかけては78円台でもみ合いへ。

### ＜7月のユーロ円相場＞

ECBが追加利下げを行ったほか、スペインでの財政不安の高まりにより欧州債務問題への懸念が再燃したことから、下旬にかけてユーロが94円台まで下落。その後、ユーロ防衛に向け強い姿勢を示したドラギECB総裁の発言を受け、月末には96円台までユーロが反発。

## 2. 米欧の金融政策の現状と見通し

### ＜米FRBの金融政策の現状と見通し＞

7月31日～8月1日の米FOMCでFRBは、追加金融緩和を見送ったものの、景気認識を下方修正したほか、今後の金融政策について追加緩和姿勢を強化。足許、市場のインフレ期待が低下傾向にある一方、雇用改善が従来ほど期待し難しくなっており、雇用の持続的な改善がみられなければ、FRBは9月以降のFOMCで追加金融緩和を実施する可能性。当面ドルの上値を抑える要因に。

### ＜ECBの金融政策の現状と見通し＞

8月2日のECB理事会後の会見でドラギ総裁は、流通市場でのユーロ圏の国債購入を再開する用意があることを表明。もっとも、対象国の支援要請に基づくEFFSFによる国債購入を条件としたほか、国債購入の時期や規模は明示されなかったことから、現時点では効果は不透明。ECBは今回の計画が決定でなく、ガイダンス（指針）であるとの立場であり、今後詳細を詰めた上で、近日具体策が発表される見込み。

## 3. 金利差からみた為替相場

7月の米2年債利回りは、中旬にかけて低下し、ドル安圧力として作用したものの、金利低下余地が乏しくなるなか、ドル安圧力は限定的に。先行きについても、FRBの追加金融緩和の可能性を既にある程度織り込んで金利が低下しているほか、水準でみても金利の低下余地が乏しくなっており、ドル安圧力は限られる見込み。

7月の独2年債利回りはマイナス圏まで低下し、ユーロ安に作用。先行き

についても、独2年債利回りは当面低下圧力が強い状況が続く見込み。もっとも、金利の一段の低下は見込み難しくなっており、ユーロ安圧力は限られる公算。

## 4. 為替需給からみた円相場

7月入り以降、投機筋の円のロングポジションが依然低水準ながらも拡大傾向にあり、円買い圧力として作用。一方、貿易収支の赤字基調継続や高水準の対外直接投資が一方的な円高進行リスクを抑制。もっとも、対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態が続いており、大幅な円安方向への反転も引き続き期待薄。

## 5. トピックス

### ＜独米金利差、財政リスクプレミアムから示唆されるユーロ相場の下値目途＞

ユーロドル相場は7月24日に一時2010年6月以来となる1ユーロ=1.20ドル台半ばまで下落。ユーロドル相場は、独米金利差やユーロ圏国債の対独スプレッド（財政リスクプレミアム）と強い相関。7月は、①独2年債利回りがマイナス圏まで低下し、独米金利差の一段の縮小が見込み難い水準に到達したこと、②財政リスクプレミアムが政策当局による政策発動水準に達したこと、を踏まえれば、1ユーロ=1.20ドル台という水準が独米金利差や財政リスクプレミアムから示唆されるユーロの当面の下値目途。購買力平価やテクニカル面でのサポートラインも同水準にあることを合わせて考えれば、同水準では一旦ユーロが下げ渋る可能性。

## 6. ドル円、ユーロ相場の見通し

### ＜ドル円相場の見通し＞

米国金利の低下余地の乏しさ、わが国貿易収支の赤字基調継続、政府・日銀の円高回避に向けた強い姿勢、等から、一方的な円高進行の公算は小さい一方、米国の超低金利政策の長期化により、大幅な円安方向への反転も期待薄。78～80円を中心とした推移が長期化する見通し。2013年春以降、米国景気の下振れリスクが後退してくれば、徐々にドルが持ち直しへ。

### ＜ユーロ相場の見通し＞

ECBの政策対応への過度な期待が剥落するなか、ユーロは上値が重い展開が続く見通し。今後国債買い入れなどの政策対応の枠組みが具現化してくれば、ユーロに買い戻しが入る可能性があるものの、ECBの政策対応だけでは債務問題の抜本的な解決にはならないほか、ユーロ圏の景気悪化が続く見込みであることから、ユーロ下落基調は変わらない見通し。

## 低調な米景気指標、米追加緩和観測等を背景に、円高ドル安が進行。ユーロはECBの利下げ、債務問題への懸念再燃等を背景に急落後、反発。

### ＜7月のドル円相場＞

上旬は米景気指標が強弱まちまちの結果となるなか、79円台前半から80円台前半で一進一退。その後、①12日の日銀金融政策決定会合で追加金融緩和が見送られたこと、②低調な米景気指標が相次いだこと、③バーナンキFRB議長の議会証言を受けて追加金融緩和期待が高まったこと、④スペインでの財政不安の高まりにより欧州債務問題への懸念が再燃したこと、等を受けて、23日には一時77.94円までドルが下落。もっとも、77円台では介入警戒感も強く、月末にかけては78円台でもみ合い。

### ＜7月のユーロ相場＞

6月末の欧州首脳会議で債務問題への対応策が前進したことを受け、月初に101円台をつけたものの、①5日にECBが追加利下げを行なったこと、②10日のユーロ圏財務相会合で、欧州救済基金を通じた国債購入や、銀行への直接的資本注入の具体策に対する議論が先送りされたこと、等を受けて、96円台までユーロが下落。その後、20日のユーロ圏財務相会合でスペインの銀行救済策が正式決定されたものの、スペインの財政不安の高まりにより欧州債務問題への懸念が再燃したことから、24日に一時2000年11月以来となる94.11円までユーロ安が加速。もっとも、26日にはユーロ防衛に向け強い姿勢を示したドラギECB総裁の発言を受け、欧州債務問題への過度な懸念が薄らいだことから、月末には96円台までユーロが反発。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.

米欧の金融政策の現状と見通し

米FRBは追加金融緩和を見送り。状況次第で9月以降に追加金融緩和実施へ。ECBは条件付きでの国債購入再開を準備中。時期、規模は明示せず。

〈米FRBの金融政策の現状と見通し〉

7月31日～8月1日の米FOMCでFRBは、追加金融緩和を見送り。声明では「今年前半の経済活動は幾分減速」と景気認識を下方修正したほか、今後の金融政策については、前回6月の「一段の措置を適切に講じる用意がある」から「必要に応じて追加緩和策を講じる」へと追加緩和姿勢を強化。

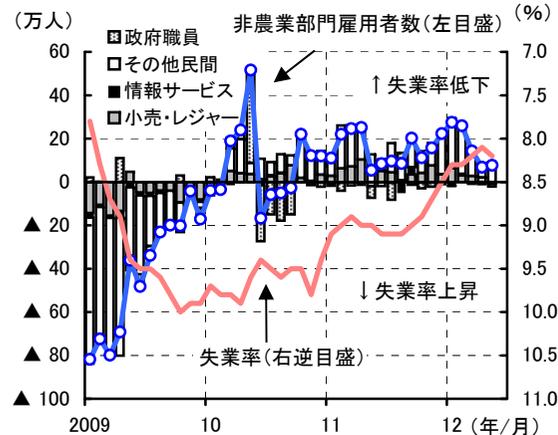
足許、市場のインフレ期待が低下傾向にある一方、6月米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが3カ月連続で10万人を割るなど、雇用改善が従来ほど期待し難くなっており、雇用の持続的な改善がみられなければ、FRBは9月以降のFOMCで追加金融緩和を実施する可能性。当面ドルの上値を抑える要因に。

〈ECBの金融政策の現状と見通し〉

流通市場でスペイン、イタリアなど南欧諸国の国債利回りが高止まりし、ECBによる国債購入再開への市場の期待が高まるなか、8月2日のECB理事会後の会見でドラギ総裁は、流通市場でのユーロ圏の国債購入を再開する用意があることを表明。もっとも、対象国の支援要請に基づくEFSFによる国債購入を条件としたほか、国債購入の時期や規模は明示されなかったことから、現時点では効果は不透明。ECBは今回の計画が決定でなく、ガイダンス(指針)であるとの立場であり、今後詳細を詰めた上で、近日具体策が発表される見込み。

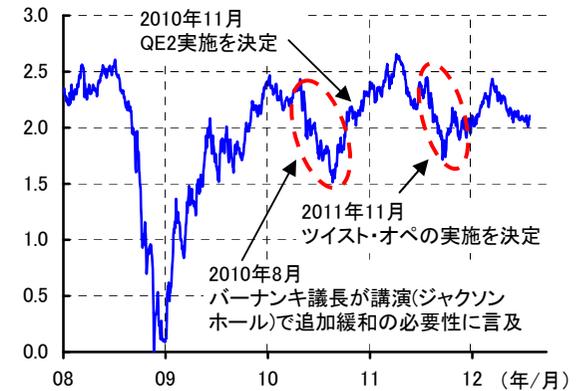
政策金利については今回据え置かれたものの、足許の①ユーロ圏の景気悪化、②既往の原油価格下落の影響等を受けたインフレ率の先行き低下期待、等を背景に、今後もECBに対する追加利下げ期待が高まりやすい状況。

非農業部門雇用者数(前月差)と失業率の推移



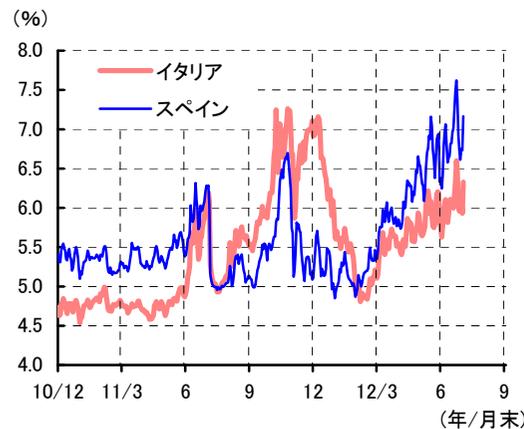
(資料)Bureau of Labor Statistics

米国のブレイク・イーブン・インフレ率の推移



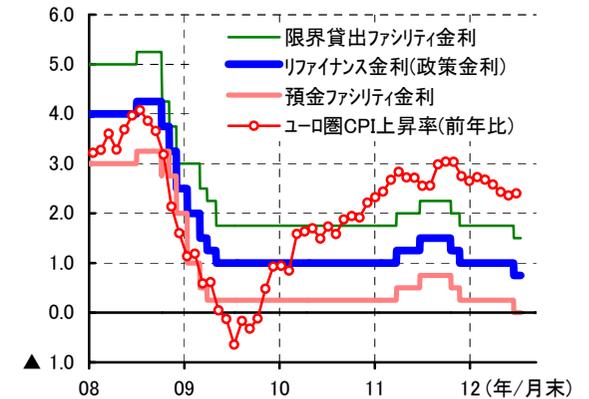
(資料)Bloomberg LP. をもとに日本総研作成  
(注)ブレイク・イーブン・インフレ率は、「10年債利回り-10年物価連動債利回り」で算出。

スペイン、イタリアの10年国債利回りの推移



(資料)Bloomberg L.P.

ユーロ圏の政策金利とCPIの推移



(資料)Eurostat, ECB  
(注)CPIは、Harmonised Index of Consumer Prices.

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年8月

# 米独ともに金利低下余地が乏しくなるなか、金利低下によるドル安圧力、ユーロ安圧力は限定的に。

7月の米2年債利回りは、低調な米景気指標が相次ぐなか、FRBへの追加金融緩和期待が強まったことに加え、欧州債務問題への懸念が再燃したことから、中旬にかけて低下し、ドル安圧力として作用。もっとも、金利低下余地が乏しくなるなか、ドル安圧力は限定的に。

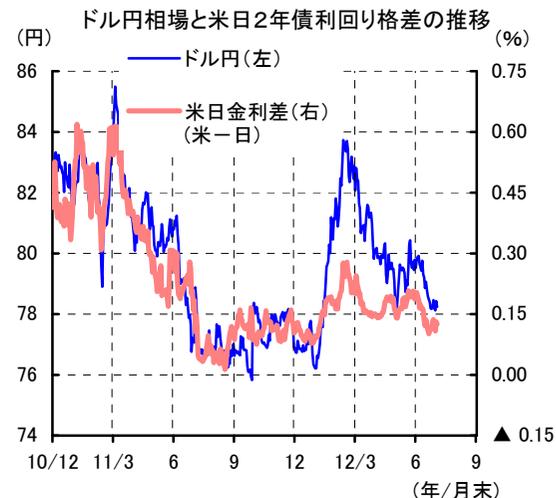
先行きについても、9月以降に米FRBが追加金融緩和に踏み切る可能性があるものの、2年債利回りは政策金利を下回る0.2%前後と追加金融緩和の可能性を既にある程度織り込んで金利が低下しているほか、水準でみても金利の低下余地が乏しくなっており、ドル安圧力は限られる見込み。

7月の独2年債利回りは、①ECBの追加利下げ、②欧州債務問題への懸念再燃、③ユーロ圏の景気悪化、等を背景に低下し、ユーロ安に作用。なお、5日にECBが預金ファシリティ金利をゼロ%に引き下げて以降、安全資産とみられている独2年債利回りはマイナス金利が定着。

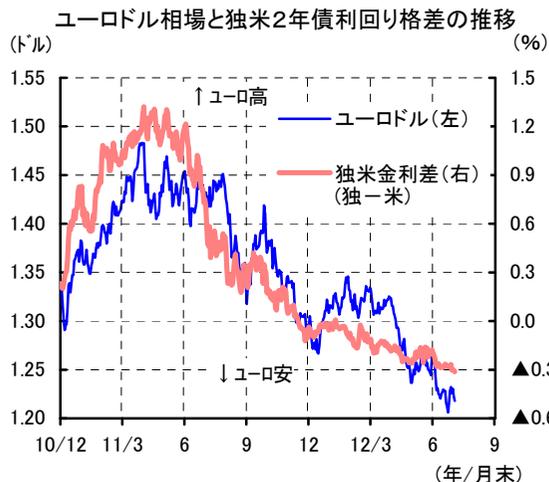
先行きについても、独2年債利回りは当面低下圧力が強い状況が続く見込み。もっとも、金利がマイナス圏まで低下するなか、金利の一段の低下は見込み難くなっており、ユーロ安圧力は限られる公算。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.



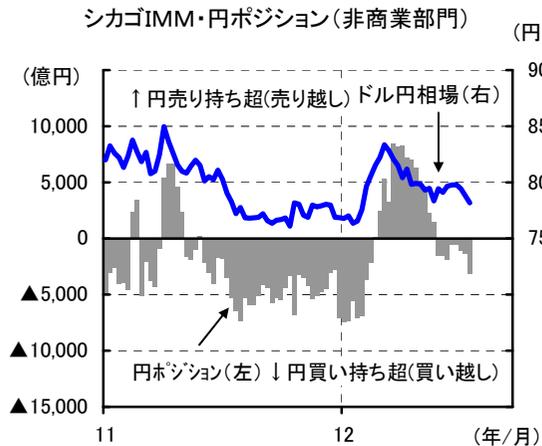
(資料)Bloomberg L.P.

為替需給からみた円相場

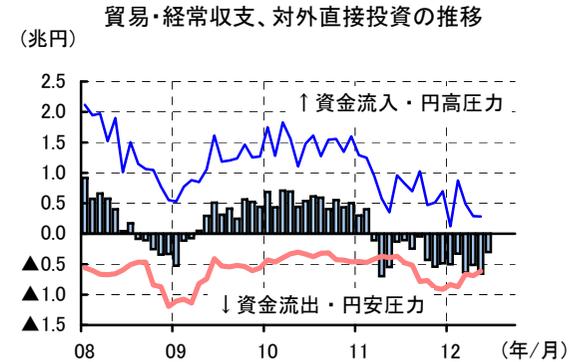
投機筋の円ロングポジションが拡大傾向にあるものの、貿易収支の赤字基調継続、高水準の対外直接投資が一方的な円高進行リスクを抑制。

7月入り以降、投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引（非商業部門）では、円のロングポジションが依然低水準ながらも拡大傾向にあり、円買い圧力として作用。一方で、貿易収支の赤字基調継続や高水準の対外直接投資が一方的な円高進行リスクを抑制。まず、わが国貿易収支（原数値）は、6月単月では4ヵ月ぶりに黒字に転換したものの、半期ベースでは、過去最大の赤字を記録。先行きについても、海外経済の減速による輸出の低迷と、原発停止に伴う火力発電用燃料需要の増加等による輸入の高止まりにより、明確な黒字基調復帰にはなお時間を要する見通し。所得収支黒字に支えられ、経常黒字は維持される見込みながら、経常黒字幅が大幅に縮小するなか、円高圧力は引き続き限定的となる公算大。次に、対外直接投資も引き続き高水準で推移しており、対外直接投資を通じた資金流出が円の上昇を抑制。海外市場の成長期待等から、今後もこうした構図が続く可能性。

もともと、大幅な円安方向への反転も引き続き期待薄。世界的な金融緩和の動きを受けた海外との金利差縮小に加え、欧州債務問題や世界的な景気減速に対する懸念等を背景とした投資家のリスク許容度の低下により、対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態。当面、低水準の内外金利差や投資家のリスク許容度の低下等が投資意欲を抑制し続ける公算。

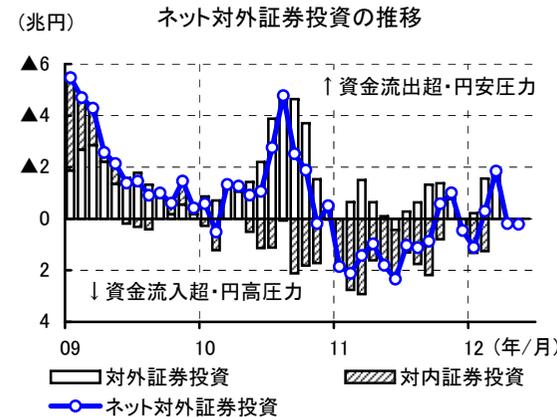


(資料)米CFTC  
(注)直近値は7/24。



■ 貿易収支(通関ベース) ■ 経常収支(国際収支ベース)  
— 対外直接投資

(資料)財務省、日銀  
(注)貿易収支、経常収支は季調値、対外直接投資は再投資収益を除いた原数値の6ヵ月移動平均値。



(資料)財務省、日銀  
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。ネット対外証券投資は、対外証券投資から対内証券投資を引いたもの。

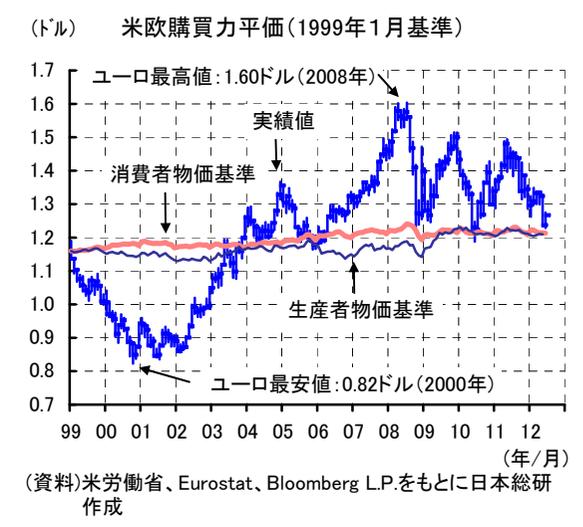
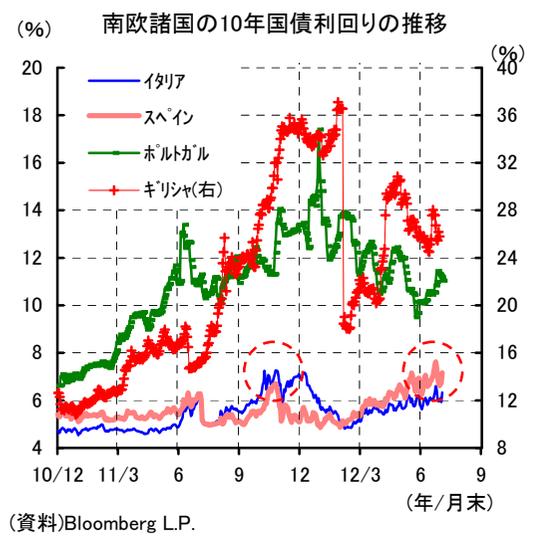
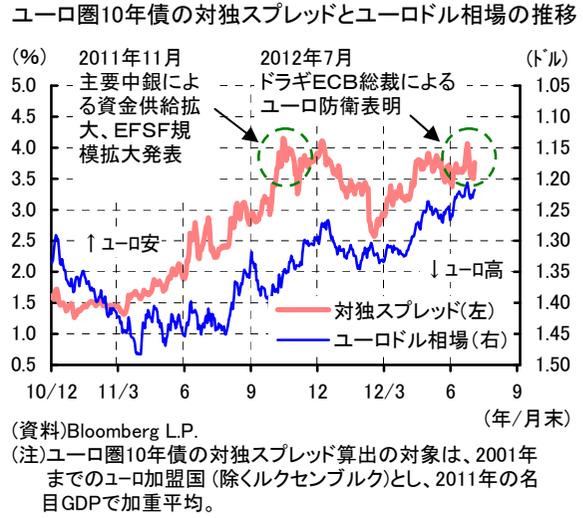
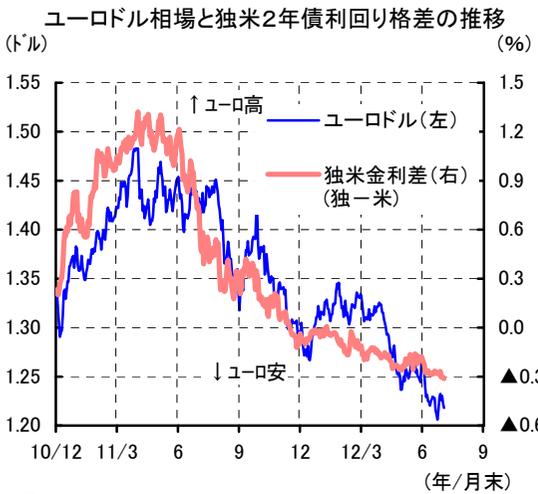


(資料)日銀

トピックス: 独米金利差、財政リスクプレミアムから示唆されるユーロ相場の下値目途

# 独米金利差と財政リスクプレミアムから示唆されるユーロドルの下値目途は 1ユーロ=1.20ドル台。購買力平価、テクニカル面のサポートラインも同水準。

ユーロドル相場は7月24日に一時2010年6月以来となる1ユーロ=1.20ドル台半ばまで下落。  
 ユーロドル相場は独米金利差と強い相関。独米2年債利回り格差が縮小するほどユーロドル相場が下落するという関係。7月は独米2年債利回り格差が縮小し、ユーロ安に作用したものの、独2年債利回りはマイナス圏まで低下しており、独米金利差の一段の縮小が見込み難い水準に到達。  
 ユーロドル相場はユーロ圏国債の対独スプレッド(以下、財政リスクプレミアム)とも強い相関。財政リスクプレミアムが拡大するほど、ユーロドル相場が下落するという関係。7月はスペイン10年国債利回りがユーロ導入後の最高水準となる7.5%超まで上昇したことをはじめ、南欧諸国の国債利回りが軒並み上昇したことで、財政リスクプレミアムが拡大し、ユーロ安に作用。もっとも、7月の財政リスクプレミアムは、昨秋にイタリア10年国債利回りが7%を突破し、金融市場が緊迫化した局面と同水準まで拡大。当時は主要中銀による資金供給拡大やEFSF規模拡大等が打ち出されており、政策当局による政策発動水準とみなすことが可能。  
 以上を踏まえれば、7月につけた1ユーロ=1.20ドル台という水準が独米金利差と財政リスクプレミアムから示唆されるユーロの当面の下値目途とみなすことが可能。  
 1999年1月基準の米欧購買力平価が1ユーロ=1.21ドル程度、テクニカル面ではユーロ導入後の最安値と最高値の半値押し水準が1ユーロ=1.21ドル程度となっていることを合わせて考えれば、1ユーロ=1.20ドル台が当面のユーロ下値の目処として意識され、同水準では一旦ユーロが下げ進む可能性。



(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年8月

ドル円、ユーロ相場の見通し

【ドル円】 78～80円を中心とした狭いレンジでの推移が長期化する見通し。  
 【ユーロ】 ユーロの上値が重い展開が続く見通し。

＜ドル円相場の見通し＞

当面は、欧州債務問題への懸念等を背景としたリスク回避の動きに加え、米FRBによる追加金融緩和と観測が根強いなか、円高圧力が強まりやすい地合い。もっとも、①米金利の低下余地の乏しさ、②わが国貿易収支の赤字基調継続、③政府・日銀の円高回避に向けた強い姿勢、等から、一方的な円高ドル安進行のリスクは小。

一方で、米国では2013年入り以降の財政赤字削減等により、米国景気の回復ペースが緩慢にとどまるとみられるなか、FRBによる超低金利政策の長期化が予想され、円安ドル高方向への大幅な反転も期待薄。この結果、78～80円を中心とした狭いレンジでの推移が長期化する見通し。

2013年春以降、米国景気の下振れリスクが後退してくれば、徐々にドルが持ち直しへ。

＜ユーロ相場の見通し＞

ECBの政策対応への過度な期待が剥落するなか、ユーロは上値が重い展開が続く見通し。今後ECB理事会で打ち出された国債購入計画などの政策対応が実現すれば、ユーロに買い戻しが入る可能性があるものの、ECBの政策対応だけでは債務問題の抜本的な解決にはならないほか、ユーロ圏の景気悪化が続く見込みであることから、ユーロ下落基調は変わらない見通し。

ユーロの本格的な反転上昇には、ECBやEFSF/ESMが国債購入で時間を稼ぐ間に、EUやユーロ圏各国が安全網の拡充や財政統合に向けて前進していくと同時に、南欧諸国の景気悪化に歯止めがかかる必要。少なくとも年内はユーロの本格反転は期待薄。

ドル円相場見通し

	2012年			2013年	
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
期中平均	80.1	78	78	79	80
(高値)	83.3	82	82	83	84
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	77.7	76	76	77	78

予測

ユーロ円相場見通し

	2012年			2013年	
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
期中平均	103.0	96	94	94	95
(高値)	111.1	102	100	100	101
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	95.6	90	88	88	89

予測

ユーロドル相場見通し

	(ドル)				
期中平均	1.28	1.23	1.21	1.20	1.19
(高値)	1.34	1.30	1.28	1.27	1.27
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	1.23	1.16	1.14	1.13	1.13

予測



(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年8月

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F 0/N	1-03カ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03カ月	10年国債
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.25	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.24	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.23	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.23	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.25	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.36	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.45	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.43	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.35	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.31	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.29	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.29	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.29	3.36	11802.37	0.95	3.05
11/2	0.30	0.093	0.34	0.45	0.43	0.71	1.34	1.28	1.475	1.65	82.53	112.70	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1.04	3.23
11/3	0.30	0.085	0.34	0.45	0.40	0.64	1.29	1.25	1.475	1.60	81.79	114.48	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1.13	3.25
11/4	0.30	0.062	0.33	0.44	0.39	0.65	1.32	1.27	1.475	1.70	83.35	120.34	9644.63	0.10	0.27	3.43	12434.88	1.27	3.35
11/5	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.56	1.19	1.14	1.475	1.55	81.23	116.03	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1.38	3.11
11/6	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.54	1.15	1.13	1.475	1.50	80.51	115.82	9541.53	0.09	0.24	2.99	12097.31	1.43	2.97
11/7	0.30	0.073	0.33	0.44	0.37	0.53	1.13	1.11	1.475	1.50	79.47	113.52	9996.68	0.07	0.22	2.98	12515.68	1.54	2.78
11/8	0.30	0.081	0.33	0.44	0.33	0.46	1.03	1.02	1.475	1.35	77.22	110.62	9072.94	0.10	0.26	2.29	11326.62	1.50	2.25
11/9	0.30	0.080	0.33	0.43	0.34	0.46	1.00	1.00	1.475	1.40	76.84	105.89	8695.42	0.08	0.31	1.96	11175.45	1.48	1.87
11/10	0.30	0.081	0.33	0.43	0.35	0.47	1.01	1.01	1.475	1.40	76.77	105.24	8733.56	0.07	0.36	2.13	11515.93	1.51	2.04
11/11	0.30	0.073	0.31	0.41	0.35	0.45	0.95	0.94	1.475	1.40	77.54	105.05	8506.11	0.08	0.36	2.00	11804.33	1.43	1.95
11/12	0.30	0.078	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	1.00	1.475	1.40	77.85	102.54	8505.99	0.07	0.37	1.97	12075.68	1.36	1.99
12/1	0.30	0.081	0.33	0.43	0.37	0.47	0.98	0.97	1.475	1.40	76.97	99.35	8616.71	0.08	0.35	1.94	12550.89	1.16	1.86
12/2	0.30	0.085	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.96	1.475	1.40	78.45	103.85	9242.33	0.11	0.32	1.96	12889.05	0.98	1.90
12/3	0.30	0.084	0.33	0.44	0.35	0.48	1.04	1.00	1.475	1.35	82.43	108.83	9962.35	0.13	0.30	2.16	13079.47	0.76	1.88
12/4	0.30	0.075	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.95	1.475	1.35	81.49	107.14	9627.42	0.15	0.31	2.03	13030.75	0.66	1.73
12/5	0.30	0.084	0.33	0.44	0.35	0.43	0.89	0.85	1.475	1.30	79.70	101.95	8842.54	0.16	0.28	1.78	12721.08	0.61	1.46
12/6	0.30	0.076	0.33	0.44	0.34	0.41	0.85	0.83	1.475	1.30	79.32	99.39	8638.08	0.16	0.28	1.61	12544.90	0.57	1.43
12/7	0.30	0.084	0.33	0.43	0.30	0.36	0.78	0.77	1.475	1.25	79.02	97.15	8760.68	0.16	0.28	1.50	12814.10	0.38	1.31

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。